

# 「秀麗富嶽十二景を歩く」シリーズ

## 第3回 「笹子雁ヶ腹摺山」 1358m

(報告) Fuka

◎期日：2018年 1月14日 (日)

◎メンバー：Fuka (L)、Sachi、Mitsu、Tsuka、Naka、Hamafusai、Fuji

今回は4番の「笹子雁ヶ腹摺山」1358mです。この日は快晴。早朝から午後まで雲一つ無い冬空でした。九州・山陰方面は大雪だそうです。この辺りを眺めると雁が群れをなして山を越えていったことから、昔の人はこの名前をつけたのでしょうか。

雁ヶ腹摺山はこの辺りに三山あります。1番の「雁ヶ腹摺山」1874m。昔の500円札に載っていた富士山の図を思い出す方もいると思います。2番「牛奥の雁ヶ腹摺山」1990mは小金沢連嶺の主峰です。小金沢連嶺は富士山を眺めながら下る贅沢な道です。

JR 笹子駅で7名が顔合わせ。歩き始めます。国道20号線沿いを40分ほど歩くと登山口です。前日、体調が悪かった藤野さんが急遽、車で登場します。八王子の自宅から40分で来られたそうです。9時45分。全員そろって歩き始めます。墓地の裏の急登です。

塚本さんは、またも「長靴」を履いています。急登をがんがん登ります。標高930mあたりで西の方に大きな雪化粧をした富士山が見え始めます。青空に真っ白に映えた富士山です。



11時30分に笹子雁ヶ腹摺山の頂上。この山は西に遮る山が殆どないので南アルプスの展望がすばらしいです。甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山・北岳・間の岳と雪を被った白い山々が青空に映えます。昼食を頂き、記念写真を撮ります。

懐に犬を抱えた単独行の男性が登って来ました。はじめはぬいぐるみかと思ったのですが、本物の犬でした。「モコ」ちゃんという名前です。頂上を走り回っていました。尻尾を振って愛嬌たっぷり。戌年に相応しい頂上となりました。

12時。下山開始。急な下り道です。落葉樹林帯で遠くのシルエットが良く見えます。途中で張られたザイルなども使い無事に下りました。旧甲州街道の笹子隧道に出ます。このトンネルは1938年に完成。長さ240m幅3mです。柱状の装飾と赤レンガがレトロな雰囲気を醸し出しています。国登録有形文化財だそうです。



ここから「矢立の杉」まで旧甲州街道を歩きます。出陣する兵士がこの杉に矢を射立て、戦勝を祈念したと伝えられる樹齢1000年と言われる巨木です。江戸時代の広重の絵にも登場するそうです。周りに生えているのに比べこの杉だけ突出して巨大でした。中道さんは「この杉は形が悪く、杉材としての価値が無かったから、ほって置かれたのだろう。でも500年以上もほって置かれると凄い価値になるのだなあ」と語ってくれました。



ここから Fuji さんが登山口から車を運び、皆さんを笹一酒造「酒遊館」まで運んでくれました。国道20号線沿いの歩きなどが無くなり、ずいぶん楽をさせていただきました。感謝です。

14時30分、笹一酒造「酒遊館」で解散し。しばらくたて原酒で「おでん」「鳥モツ煮」をつまみながら反省会を行い、帰宅しました。ほろ酔い正月山行でした。

<記録> 9:00JR 笹子駅発—9:45 登山口—11:30 笹子雁ヶ腹摺山山頂・昼食—12:00 山頂発—  
12:50 矢立の杉—14:30 笹一酒造—15:35JR 笹子駅着